# （エレクトリック・ギター・ワールド）を探検する

# It's a Beautiful Wonder Land.

by Professional Guitarist Mr. X

# STEP 1 TREMOLO UNIT

### INTRODUCTION

60年代の第一次エレクトリックギター・ブームの頃は、コードにヴィブラートをかけるための機構に過ぎなかったトレモロユニットは、伝説のギタリスト"J・H"によってより幅広いアーミングの可能性を与えられ、80年代のスーパーギタリスト"E・V・H"の登場でさらに表現の可能性が拡げられた。

それまで、トレモロユニットは、ミュージシャンのテクニックや工夫によりチューニングをキープしながら使わざるを得なかった。が、より安定したチューニングをキープするために、メーカー側が様々なアイデアのユニットを追求する時代に移っていく。ヤマハもまた常にトレモロユニットの理想像を追求し研究・開発を続けて来た。時代とともに変わり続けるロックシーンに対し、現在では激しいアーミングプレイにも正確なチューニングをキープし、ロングサスティーンが得られるストリング・ロックタイプが主流になっている。ヤマハも独自のコンセプトによるRockin' Magic、Rockin' MagicⅡをリリースして来た。そして今回、圧倒的な表現力と超精度を誇る"Rockin' Magic-Pro"を完成させた。さらに、トラッドなアーミング感覚とギターサウンドをより精度の高いチューニングで再現させた"Vintage－Pro"も同時開発。2タイプとも、トレモロユニットの新たな方向性を示すものといえるだろう。

## Rockin' Magic-Pro

Rockin' Magic、Rockin' MagicⅡと、トレモロシステムの理想を追求するヤマハがここに究極ともいえるトレモロシステムを完成。随所に世界初のアイデアを盛り込み、ライバルを圧倒する表現力と超精度を実現。プロフェッショナルスペックトレモロシステム――Rockin' Magic－Proは、ビブラート表現の革新を熱く予感させてくれる。

### "Needle-Bearing"Pivots System

支点部にニードルベアリングを採用した新設計オリジナルシンクロナイズドメカニズム。〔点〕で加重を受けるボールベアリングと異なり、ニードルベアリングでは〔線〕が加重を受けるため、支点の耐久性、持久力が強靱となりバックラッシュを排除。圧倒的にスムースなアーミングアクションを実現している。精度も別格で、抜群のピッチリターン&ステイチューニングを獲得。まさに思いのままのアーミングプレイを約束。感情をビブラート表現に直結させるリニアなトレモロシステムとなっている。

### Variable Pitch Look System

もちろん、アーミングアップもワイドレンジ。アジャストメントスクリューによって、工具を使うことなくアーミングアップ量をプリセットできる。アーミングダウンのみを使用するプレイヤーにとっては、演奏中の弦切れにもチューニングを維持するバックストップ機能（ワンウェイバックストップ・システム）として威力を発揮。チョーキングやハードなピッキング、そしてダイナミックなステージアクションにもチューニングをキープする。
右ページの"ヴァリアブルピッチロックシステム"の項を参照。

### Sustain-Plate

ブリッジサドルとブロックとの間にサスティーンプレートを内蔵。ユニット本体の軽量設計との相乗効果により、ロングサスティーンをプロデュース。超ロングトーンを保ちながらのアーミングが、新次元テクニックをクリエイト。

### "Snap In/Out"Tremolo Arm

従来のスクリュータイプとは格段の利便性を発揮。アームの着脱は、ワンタッチでOKのスナップイン／アウト方式。アームの回転トルクをルーズにもタイトにも指で調整できるアジャストリングも装備。つねに好みの状態でトレモロアームが使用可能。

### Original"Low-Profile"Design

徹底したプレイアビリティの追求により、ユニット全体をロープロフィールタイプにデザイン。GTカーのリアスポイラーをイメージさせる、シャープなファインチューナー部もひときわ印象的。ミュートプレイ、激しいアーミング、そしてピッチ調整にも無類の操作性を発揮する。

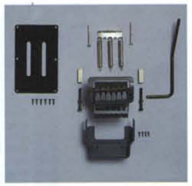
### The Others (RM-Functions)

Rockin' Magic－Proには、Rockin' MagicⅡまでのヤマハトレモロシステムテクノロジーの歴史がつぶさにフィードバックされている。①ボールエンドを切らずに弦をセットできる利便性②世界初のアーミングアップアクションの実現………3弦で5度。③弦をゆるめることなく、各弦のオクターブピッチ調整が可能。などといった多彩な才能をそのまま継承している。

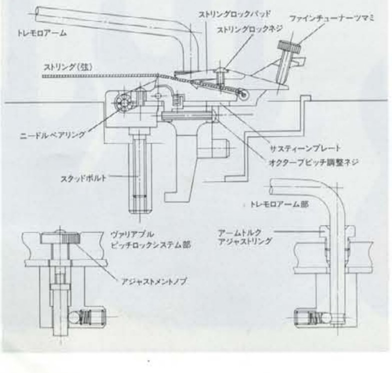
### Adjustable Lock Nut

ヘッドでのロックには、ナットにおける弦高調整が可能なアジャスタブルロックナットを採用。キメ細かにプレイアビリティの向上を図った。強度・耐久性ともに抜群のロストワックス製法に加え、ワンピース構造のため弦振動の減衰もゆるやかに制御。サスティーン効果を一段と高めている。

搭載モデル　RGX－1212J、RGX－1220J、
RGX－812J、RGX－820J、
RGX－611J、RGX－611J/M、
RGX－612J、RGX－620J



Rockin' Magic-Pro概略構造図



# Pro-Spec Tremolo System

Made in
YAMAHA

## Rockin' Magic-Pro Impression

プロのギタリストって意外に楽器のルックスにこだわるんだヨネ。それって、目立つとか派手だとか言うのと違ってサ、職人のカンみたいなモンでネ、いい道具はやっぱりそれなりにまとまったいいルックスしてるんだヨ必ず。ギターとかアンプとかもそうなんだよネ。ルックスで結構ピンと来るワケ。今度のRM－Proがそれなんだヨ。トレモロユニットって今まで色んなの出てるけど、コレって言うのホンのちょっとしか無くて、ここ何年かそういう新製品にお目にかかった事無かった。このRM－Proは、ルックスが全てを語ってるネ。実際試したらその通りだった。

ロック式のユニットって、とにかくステイチューニングが第一の目的に作られてて、確かに狂いにくいんだけど、プロのレベルから見ると完璧じゃないのネ。ステージの上とかでも、いつもチューニングメーターつないどいて曲の間でファインチューナーで合わしたりネ、演奏中も、思い切りダウンした直後に軽くアップしてやったりフォローが必要なんだヨ。そうしないと、新しい弦だともうかなり平気で狂っちゃう。そういうもんだと思って使ってたんだけどネ。今度のRM－Proは、グニョグニョ滅茶苦茶アーミングしてもサ、セントでひと桁と実に安定しているんだよネ。セントでひと桁台って言ったらちゃんと調整したアームの無いギターで、左手の押さえ方で狂っちゃうのと同じくらいだから、実用上全然問題になんないんだよネ。ま、それでも当分は今までの習慣でチューニングメーターマメに見ちゃうだろうけどネ。

それからユニットをフローティングにしとくとサ、弦変える時とか、結構メンドくさい訳。アームがグンって上がっちゃって。今までだとそういう時ユニットの下に木とかはさんでたんだけど。RM－Proの場合、ヴァリアブルピッチロックシステムを使うと凄い便利なんだ。弦変える時だけフィッテングの位置までスクリュー回して簡単にユニットを固定できるし、もちろんネ、本来の使い方として、アームアップの量をあらかじめ設定したりとか、弦切れてもチューニング狂わないようにとかある訳だけど。

アームのスナップイン／アウトとアームのトルクが調整出来るって画期的だネ。今までって、ステイチューニングの事ばっかし気にしてて、この辺あんまし目向けてくんなかったからサ。やっぱし性能良くてもサ、アーム動かした感触って、ルックスと同じくらいこだわっちゃうんだよネ、ギター弾きって保守的だからサ。RM－Proってロック式にしては暖っかい滑らかさがある。機械って感じから楽器って感じに近づいたって所かな。

ロック・ナットがアジャスタブルって嬉しい。特にプロってさ、ナットの溝深く切ってもらったり、ナットの下にスペーサー入れてもらったり、ナットの高さ自分の好みにするのに苦労してたから。自分で設定出来るって嬉しい。ローポジションの弾き心地全然変わって来るからネ、ナットの高さで。

## Vintage-Pro

弦振動を最大限に活かすノンロックトレモロシステムにも、ヤマハは独自のシステムを完成。"Vintage－Pro"。トラッドなサウンド、そしてアーミングニュアンスを、じっくりと表現したいプロフェッショナルに最適のシステムだ。弦およびボディの鳴りを忠実にフォローしながらも、きわめて高いチューニングの安定性を獲得。もちろん、Rockin' Magic－Pro同様、優れたプレイアビリティを確保している。テイストフルなアーミングプレイを志向するアーチストに対するヤマハからのプレゼンテーション。

### "Needle-Bearing"Pivots System

Rockin' Magic－Pro同様、支点部にニードルベアリングを使用した、新設計オリジナルシンクロナイズドメカニズムを採用している。バックラッシュを排除し、無類のアーミングアクション、そして強靱な耐久性を実現。もちろんハイレベルな精度は、一般的なヴィンテージタイプを優に超越。微妙に、そして大胆に、エモーションを表現する。

### Sustain-Plate

シンプルデザインのブリッジサドルとイナーシャブロックの間にサスティーン(ベース)プレートを内蔵。ノンロックトレモロシステムでありながら、ユニット本体との質量バランスによりかつてないロングサスティーンを実現。また、弦のボールエンドとブリッジ間の距離を短かくすることにより、アーミングプレイ時における弦のたわみをシャットアウト。チューニングピッチの安定を、強力にフォローしている。

### Variable Pitch Lock System

下記の"ヴァリアブルピッチロックシステム"を参照。

### "Snap In/Out"Tremolo Arm

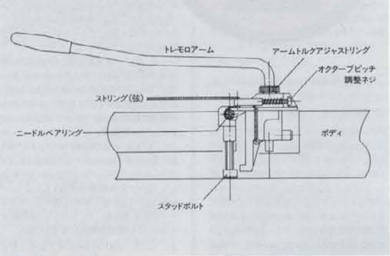
アームの着脱は、ワンタッチでOKのスナップイン／アウト方式。アームの回転トルクを工具を使うことなくルーズにもタイトにも調整できるアジャストリングを装備。アームボタン付トレモロアームを任意のポジションに、設定可能。

### Roller Nut

Vintage－Proトレモロシステムは、より確実なチューニングキープを獲得するためローラーナットを採用。回転性に優れたローラーが、弦振動を受けとめると同時にナットとして機能。弦の動きにあわせてスムースに回転するため、アーミングやチョーキングによるチューニングのみだれを最小限におさえる。

搭載モデル　SESSION Ⅱ－912J、
SESSION Ⅱ－903J

Vintage-Pro 概略構造図



## Variable Pitch Lock System

Rockin' Magic－Pro、Vintage－Proともに、独創のメカニズム"ヴァリアブルピッチロックシステム"を採用している。

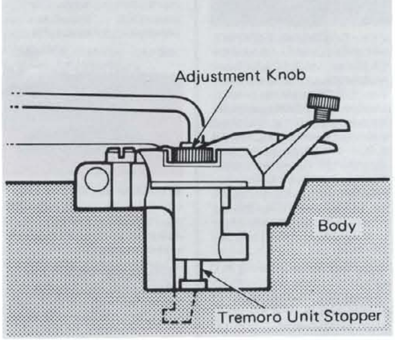
### Adjustment of Arming Up Range

アジャストメントスクリューによって、工具を使うことなく任意のアーミングアップ量をプリセット可能。アジャストメントスクリューを、反・時計方向に回わすにしたがいアーミングアップ量が小さくなり、時計方向に回すにしたがい大きくなる。

### One－Way Back Stop System

アーミングダウンのみを使用するプレイヤーには、演奏中の弦切れにもチューニングを維持するバックストップ機能として威力を発揮。正規のチューニング状態でアジャストメントノブを調整し、図のようにトレモロユニットストッパーがボディにジャストフィットする位置に合わせて下さい。（演奏中に弦が切れても、ユニット全体がスプリングテンションで沈むことなく、チューニングをキープします。）さらに、この機能を使用すると弦交換がスピーディかつスムースに行なえます。

Variable Pitch Lock System 概略構造図



## Vintage-Pro Impression

ロック式のユニットはチューニング狂わないからいいけど、やっぱし"ロック"してるからサ、そういう音になっちゃう訳。

ナットからペグまで、ブリッジからボールエンドまでの弦が一緒に振動してる音とか、ペグからボールエンドまでが一斉に伸びたり縮んだりしてるアーミングの感覚って、どうしても捨てられないギタリストが多いんだ。で、ナットの溝に鉛筆の芯の粉つけたり、ペグに弦巻きつけるのに工夫したり、スプリング色んなのに変えてみたりサ、もう信じらんない程色々やる訳ヨネ。

それでも結局、ガッとアーミングした後は反対方向に引張ったり、2～3弦、音出さないでチョーキングしたり、フォローがえらい騒ぎ。

Vintage－Proはこういう頑固なギタリストの為のアームだネ。

ロックしないで、昔っからのアームの音とアーミング感覚を残しといて、よりチューニングが狂わないようにって方針。その結果が正にその通りなんだよネ。派手にアーミングしても、下手なロック式のユニットよりよっぽどチューニングは安定してる。若干の狂いは、フォローできるしネ。昔のアームってフォローの仕方がケースバイケースだったからネ。その上にアーミングの感覚が、昔のヤツよりこっちの方がナチュラルになってる。ノンロック特有の、粘りのあるアーミング感覚は残ってるんだけど、アームの動きとピッチの動きの喰い違いみたいなのが解消されてるネ。

アームのスナップイン／アウトって便利。RM－Proと同じでトルクも決められる。この辺はこれからのアームの常識になるんだろうネ。

ナットにローラー・ナットっていうのが、チューニング安定のひとつのポイントらしい。開放の音が心配だったけど、弾いてみると、オーソドックスな音だった。頑固モンにも大丈夫みたいネ。